

木更津市末吉線の設計変更について

途中の盛土擁壁区間（下図①）：盛土擁壁を堤体付き盛土に変更する

項目	単位	単価	数量	増減額
擁壁工の減少	式		-1	
転落防止柵の減少	m			
搬出土量の減少	m ³			
用地買収の増加	m ²			
文化財調査の増加	m ²			
盛土工事の増加	m ³			
法面仕上げの増加	m ²			
合計				

請西東接続部（下図②）：地権者の理解を得て窪地を埋めて擁壁を減らす

項目	単位	単価	数量	増減額
擁壁工の減少	式		-1	
転落防止柵の減少	m			
搬出土量の減少	m ³			
文化財調査の増加	m ²			
盛土敷均しの増加	m ³			
合計				



- ①工区外搬出土量が減少し交通事故やCO2発生量が抑制される
- ②沿道の土地利用が可能になり経済の活性化が期待される
- ③構造物の減少で将来的な維持補修の費用が軽減できる
- ④保全された緑地側での圧迫感が減少される